

[分類]	普及技術
[成果名]	直播水稲用初期除草剤マクダス 1 キロ粒剤は水田雑草防除に有効である
[要約]	直播水稲用初期除草剤マクダス 1 キロ粒剤を稲 1 葉期からノビエ 2.5 葉期までに 1 kg/10a を湛水処理することで効果的な水田雑草防除が可能である。
[担当]	農業試験場作物部、農業技術課
[部会]	作物部会

## 1 背景・ねらい

水稲の湛水直播栽培は、本県における大規模経営体の省力・低コスト技術として極めて重要な技術である。しかし、これまで直播水稲の雑草防除における初期除草剤の種類が少なかった。そこで、省力的で除草効果の高い直播水稲用初期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として普及技術とする。

## 2 成果の内容・特徴

(1) 直播水稲用初期除草剤マクダス 1 キロ粒剤を、稲 1 葉期～ノビエ 2.5 葉期までに 1 kg/10a 湛水処理することで実用的な除草効果が得られる。

農薬登録内容

マクダス 1 キロ粒剤

[一般名および成分含有量] イマズスルフロン：0.9%、フェントラザミド：3.0%、  
プロモブチド：9.0%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性]：イマズスルフロン A類、フェントラザミド A類、プロモブチド A類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 25 年 8 月 25 日現在 JPP-NET 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
直播水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、セリ	湛水散布または無人ヘリコプターによる散布	砂壤土～ 埴土	稲 1 葉期～ノビエ 2.5 葉期ただし、収穫 90 日前まで	1 kg	1 回

## 3 利用上の留意点

- (1) 本剤はオモダカ、クログワイに対しては適用外であるので、効果のある剤との体系により使用する。
- (2) 利用上の留意事項は、「農作物病虫害・雑草防除基準（長野県）」の除草剤の使用（湛水直播除草剤）を参照する。

## 4 対象範囲

県下全域

## 5 具体的データ

(1) 平成 25 年に農業試験場で実施した試験では、稲 1 葉期およびノビエ 2.5 葉期処理の除草効果は比較剤より高かった(表 1)。ノビエ 2.5 葉期処理でコナギの残草がみられたが、実用上問題となる程度では無かった。葉害は見られなかった(観察)。

表 1 マクダス 1 キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup>(平成 25 年、農業試験場)

除草剤名	処理時期 <sup>b)</sup> 処理量(/10a)	ノビエ	カヤツリ グサ	コナギ	その他 広葉	ホタルイ	合計
マクダス 1 キロ粒剤	稲 1 葉期 +9 日 1 kg	0	0	0	1	2	1
キックバイ 1 キロ粒剤	出芽始期 +8 日 1 kg	0	0	4	1	15	11
マクダス 1 キロ粒剤	ノビエ 2.5 葉期 +13 日 1 kg	0	0	21	0	5	5
(比較)トップガン L フロアブル	ノビエ 2.5 葉期 +13 日 500ml	1	0	2	0	15	10
無処理	—	0.3	0.4	3.5	10.8	31.2	46.2

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理比(%), 無処理区は乾物重(g/m<sup>2</sup>)。

b) 処理時期の+は播種後日数。

試験方法: 試験場所は農業試験場水田ほ場(標高 340m, 中粗粒グライ土)。

品種は「コシヒカリ」。種子は 1 倍重カルパーコーティング種子。乾籾 3 kg/10a を機械播種。

代かきは 6 月 14 日。播種は 6 月 18 日。1 区 7.2 m<sup>2</sup>、2 区制。6 月 26 日入水。

調査方法: 播種後 26 日後に調査した。

(2) 平成 24 年に山ノ内町の現地ほ場で実施した試験では、ノビエを主体に除草効果が見られた(表 2)。葉害は見られなかった(観察)。

表 2 マクダス 1 キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup>(平成 24 年、北信農業改良普及センター)

除草剤名	処理時期 <sup>b)</sup> 処理量(/10a)	ノビエ	その他 1 年生	マツバイ	ホタルイ	合計
マクダス 1 キロ粒剤	+12 日 1 kg	t	0	0	12	6
(比較)キックバイ 1 キロ粒剤+	+14 日 1 kg	0	0	25	32	16
ワイドアタック D 1 キロ粒剤	+29 日 1 kg					
無処理	—	31.0	0.8	0.2	31.0	63.0

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理比(%), 無処理区は乾物重(g/m<sup>2</sup>)。発生はあるものの、四捨五入で 0 になる

場合は「t」(痕跡)とした。b) 処理時期の+は移植後日数を示す。

試験方法: 試験場所は山ノ内町(標高 550m, 沖積土・埴土)。品種は「コシヒカリ」。

種子は 1 倍重カルパーコーティング種子。乾籾 4 kg/10a を機械播種。代かきは 5 月 16 日。

播種は 5 月 19 日。1 区 7 a、1 区制。

調査方法: 播種後 40 日後に調査した。

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成 25 年度(2013)、民間受託

県植物防疫協会委託試験(普及展示ほ)、平成 24 年度(2012 年度)、その他